

様式8 (第14条関係)

令和4年 3月 31日

(あて先) 一宮市長

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階

団体名 市民協働クラブ

代表者名 一宮 太郎

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る実績報告書

年 月 日付け 一宮市協指令第 号 で交付決定のあった一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業について、下記のとおり実施しましたので実績を報告します。

事業の名称	市民活動相談事業	一宮市市民活動サポート補助金企画提案書 (様式1)と同じ事業名を記入してください。
事業実施期間	令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで	
事業の内容	<p>(実施した事業の内容を記入してください。)</p> <p>毎月1回、市民活動実践者や企業等で働く人をプロボノとして迎え、業務の改善、組織力の強化、事業の展開などの支援を必要とする市民活動団体に対し相談会を実施した。</p> <p>事前予約の時点で、相談内容をできる限り聞き取り、最適なアドバイザーを配置するよう調整した。</p> <p>また、一部の団体においては、相談会実施後の3か月に1回程度、活動の変化を確認し、継続的に支援を行った。</p>	
スケジュール	<p>(具体的に、何をどのように行ったのか、①いつ ②どこで ③何を何回 ④誰に(対象者) ⑤参加人数などを記入してください。)</p> <p>毎月第4金曜日に一宮市市民活動支援センターで市民活動全般に関する相談会を実施した。</p> <p>1コマ1時間30分で年間20コマ、合計15団体の市民活動団体に対して行った。また、うち5団体については1回目の相談後も継続的に相談に応じた。</p>	

<p>実施体制</p>	<p>(実施メンバーの人数やその他に協力者、協力団体など、どのような体制で事業を行ったのかを記入してください。)</p> <p>事前予約は当団体スタッフ1名で対応した。</p> <p>相談会当日は、当団体スタッフが2名で運営を行った。また、アドバイザーは、市民活動に精通した外部の市民活動実践者5名と企業等で働くプロボノ3名の中から、相談内容に最も適した者を1名選び、相談を実施した。</p>
<p>真新しさ ユニークさ</p>	<p>(実施した事業の中で創意工夫した点やユニークな点を記入してください。)</p> <p>アドバイザーに市民活動実践者だけでなく企業等で働く人をプロボノとして迎えた。そのことにより、多様な視点からのアドバイスを行うことができ、また、市民活動団体も新たな視点で自分の活動を見直すことができた。</p>
<p>事業実施により 得られた効果</p>	<p>(事業実施により、どのような効果が得られ、地域・社会にどのように貢献できたのかを記入してください。)</p> <p>市民活動相談会に参加した市民活動団体からは、「活動内容が整理でき、今後の展開を検討することができた」「今まで気づかなかった視点から自団体を見直すことができた」などの感想が聞かれ、団体の課題解決能力の向上に寄与できたと思われた。</p> <p>また、アドバイザーとして参加したプロボノからは今まで市民活動にあまり関心が無かったが、活動を知ることによって市民活動に興味を持つことができたとの声が聞かれた。</p> <p>以上のことから、本事業の実施により、市民活動団体が自主的な行動により地域課題を解決していくという目指す地域社会像に近づいたものと思われる。</p>
<p>事業終了後の活動 の発展や自主自立 に向けて</p>	<p>(事業終了後、この活動をどのように発展させていくのか、また、補助金に頼らず、この活動の自主自立に向けて、どのように資金確保を目指すのかを記入してください。)</p> <p>今回相談会には15団体が参加し、うち5団体が事業終了後も相談を継続した。このことから、本事業には一定のニーズがあり今後も相談会を継続し、団体の課題解決能力の向上に寄与していきたいと思う。</p> <p>ただし、現在の1コマ500円の相談だけでは経費を支払えない。今後は、相談員の伴走型活動支援など支援内容を充実させることで相談料を増やし、また、現状の経費を見直すなどして、事業収入だけで事業が実施できるようにしていきたい。</p>

活動の様子がわかる写真を1枚添付してください

**活動の様子がわかる
写真を添付してください。
(カラーでもモノクロでも可)**

タイトル：市民活動相談会の様子

撮影日：令和3年11月26日

添付書類

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る収支決算書（様式9）

様式9 (第14条関係)

一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る収支決算書

補助金額は、

- ① 補助対象額に補助率を乗じた額
140,276 円×4/5=112,220 円 と
- ② 事業費から事業収入を引いた額
144,888 円-10,000 円=134,888 円 と
- ③ 補助金交付決定額 の中で
一番少ない額で、千円未満切り捨てとなります。

市民協働クラブ

市民活動相談事業

一宮市市民活動サポート補助金
企画提案書(様式1)と同じ事業
名を記入してください。

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	内 訳
一宮市市民活動 サポート補助金	134,000	112,000	
当該事業における 事業収入	24,000	10,000	相談料 500 円×20 回=10,000 円
自主財源	16,400	22,888	
計	174,400	144,888	

有料で事業を実施
した場合は、収入を
記入してください。

支 出

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	決算額のうち、 補助対象額(円)	※補助金対象額
報償費	120,000	100,000	100,000	
旅費				
印刷製本、消耗品費	4,000	3,036	3,036	
食糧費	6,000	4,612	0	
通信費、手数料	8,400	9,240	9,240	
備品費				
人件費	36,000	28,000	28,000	
使用料、賃借料				
その他				
計	174,400	144,888	140,276	

※ この欄は、何も記入しないでください。

予算額の欄は、収入、支出
ともに予算時の金額を転記
してください。

支出科目の内訳

科 目	決算額 (円)	決算額のうち、 補助対象額 (円)	内 訳*
報償費	100,000	100,000	アドバイザー 5,000 円 × 8 回 × 2 人 = 80,000 円 5,000 円 × 4 回 × 1 人 = 20,000 円
旅費			
印刷製本、 消耗品費	3,036	3,036	文具費 2,356 円 印刷費 680 円
食糧費	4,612	0	アドバイザー茶菓子代(12 回分) 4,612 円(0 円)
通信費、 手数料	9,240	9,240	チラシ郵送代 84 円 × 110 箇所 = 9,240 円
備品費			
人件費	28,000	28,000	事務 1,000 円 × 28h × 1 人 = 28,000 円
使用料、 賃借料			
その他			

対象経費とな
らない支出は
(0 円) と記入
してください。

※ 一部が「補助対象額」となる場合は、その該当分のみを () 書きで再掲してください。
例) 講師・スタッフ弁当代 @600 円 × 5 人 = 3,000 円 (@600 円 × 1 人 = 600 円)

様式 11 (第 16 条第 1 項関係)

年 月 日

(あて先) 一宮市長

空欄でお願いします。

<申請者>

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階

団体名 市民協働クラブ

代表者名 一宮 太郎

電話番号 0586-23-8883

一宮市市民活動サポート補助金交付請求書

年 月 日付け 一宮市協発第 号

で交付確定のあった一宮市市民活動サポート補助金について、下記の口座に振り込んでください。なお、上記申請者と口座名義に相違がある場合は、下記口座名義の者に受領を委任します。

		記	
1	交付確定額	金	112,000 円
2	既受領額	金	50,000 円
3	請求額	金	62,000 円

「1交付確定額」には「一宮市市民活動サポート補助金交付決定事業に係る収支決算書(様式9)」の一宮市市民活動サポート補助金の決算額を、「2既受領額」には前金として受領した金額を、「3請求額」にはその差額を記入してください。

振込先金融機関	
〇〇 銀行 農協 信用金庫	△△ 支店
預金種別	口座番号
普通 当座	1 2 3 4 5 6 7
口座名義	
フリガナ	シミンキョウドウクラブ ダイヒョウ イチノミヤ タロウ
名義人	市民協働クラブ 代表 一宮 太郎

振込先口座は通帳の記載のとおりに入力してください。